

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第100号

平成23年(2011)2月発行

発行・事務局

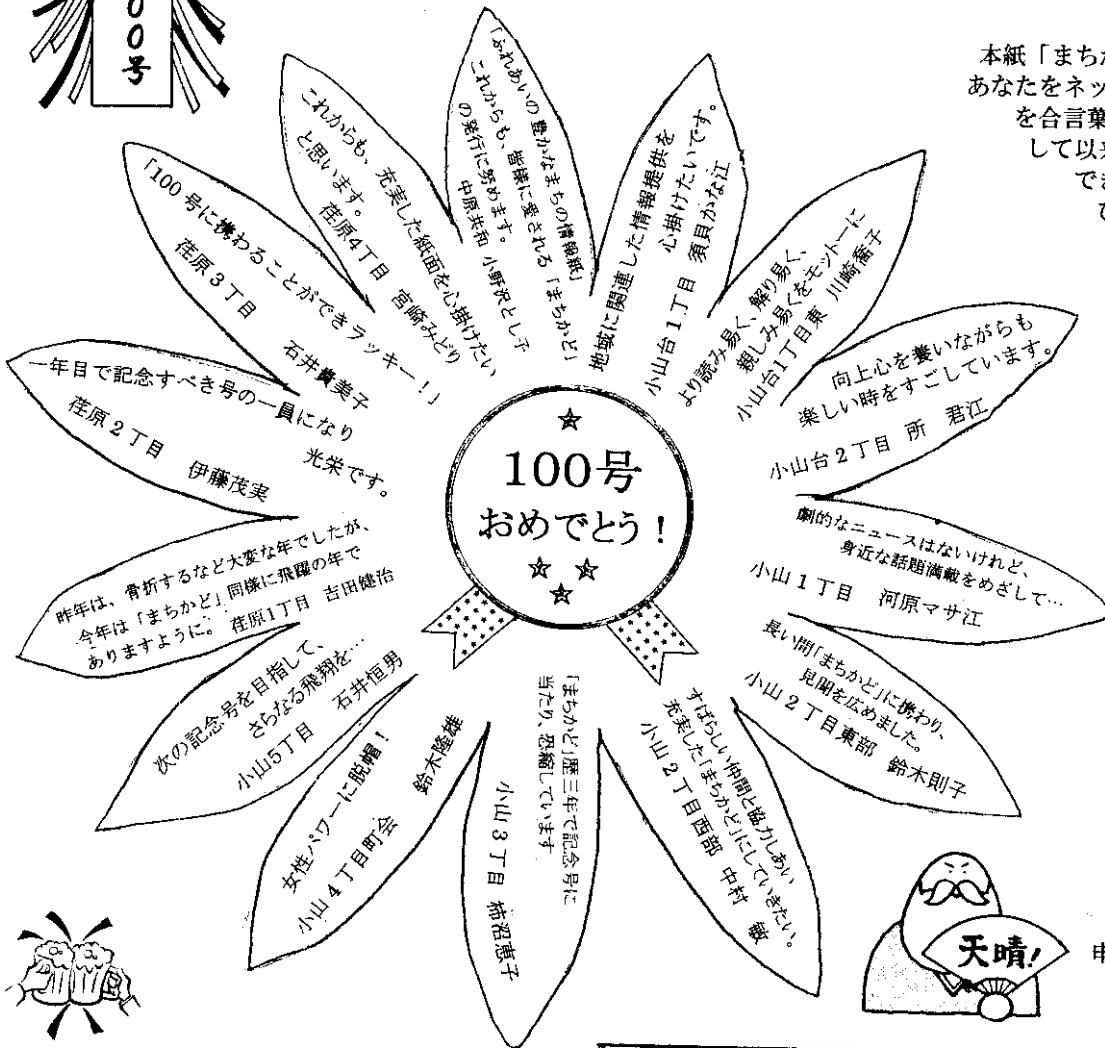
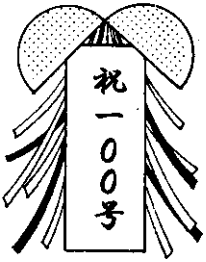
◎ 荏原第一地域センター ◎

小山3-22-3 (〒142-0062)

☎ (3786) 2000

fax (3786) 5385

おかげさまで 創刊100号



本紙「まちかど」(年4回発行)は、《街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙》を合言葉に昭和61年(1986)7月に創刊して以来、今号で100号を迎えることができました。ここまで来られたのもひとえに荏原第一地域センター管内14町会にお住まいの皆さまの温かいご支援の賜物にほかなりません。また、歴代広報委員のボランティア精神にのっとり編集作業、さらに歴代の所長をはじめ担当職員の皆さまの後方からの支えがあつたことと、深く感謝いたします。

ところで、この100号というのは、継続を旨とする刊行物においては一つのモニュメントに過ぎません。今後とも、発刊の趣旨であります地域に密着した紙面づくりを心がけていく所存です。どうか、地域に暮らしの皆さま方におかれましても、身近な情報の提供をお願いいたしますとともに、引き続きのご愛読をよろしくお願ひ申し上げます。

広報委員一同



今後の紙面づくりに 期待します

荏原第一連合町会長
小島秀男



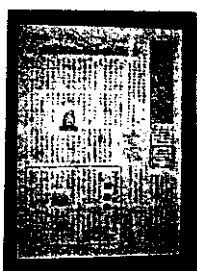
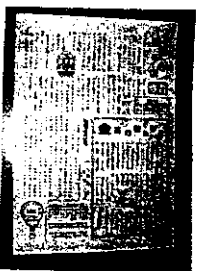
このたびは「まちかど」100号記念「おめでとう」でございます。

毎号楽しく拝読しています。広報委員の皆様には感謝しております。創刊第1号は、地域センター(旧出張所)の所長が三瓶さんの時代だと記憶します。各町会1名ずつ広報委員が選出されていますが、毎号まとめる時は大変な作業だと察します。「100号」は通過点にすぎません。どうぞ、これからも広報委員の皆様への紙面づくりに大いに期待をしています。

創刊号(昭和61年7月1日発行)

(2面)

(1面)



街角 フラガ

あなたも紙面づくりに
参加してみませんか。
俳句、短歌、川柳、身
近なニュースなど事務局
局までお寄せください。

史跡散歩

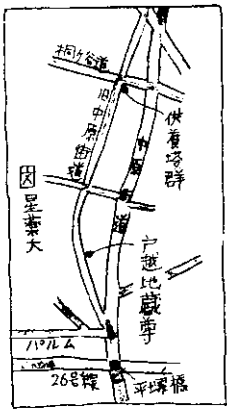
中原街道

中原街道といえは、私たち地域住民にとっては、なじみ深い幹線道路として知られています。

歴史をたどると、中世以前からすでに武蔵国と相模国を結んでいた古道で、沿道で生産された農作物などの物資を江戸へ輸送する主要な街道でした。徳川家康が江戸入りした際にもこの街道が使用されたといわれます。

その後、家康によって東海道が整備されると、中原街道は江戸・虎ノ門から平塚・中原をつなぐ脇街道として賑わうようになります。脇街道には、東海道のような宿駅は設置されず、それに代わって「継立場」と呼ぶ荷物などの受渡し場（宿場）が四カ所置かれました。

また、街道筋に将軍家が鷹狩りなど遠出の時に宿泊所として使用する小杉御殿や中原御殿が造営さ



れると、しばしば将軍家によっても利用されました。

幹線道路としての役割は東海道に譲ることになります。線であることから時間が短縮されるというので、商人や旅人にも重宝がられたようです。また、東海道は大名行列に使われるため、その煩わしさを嫌って、あえて中原街道を往来した庶民もいたそうです。赤穂浪士が江戸入りするときも、東海道を避けて中原街道を利用したと伝えられています。

江戸時代の品川区内と周辺の様子



旧中原街道の伊養塔群

あんな話、こんな話 ちょっと、いい話

■世代を超えたやさしいひと声

ある日の夕闇が迫るころ、「あっ！ おじいちゃん…」という男の子の声に、ウォーキングをしていた私の足は止まりました。声の主の方を見ると、高齢の男性が笑顔で立ち止まっています。学生服の男の子は照れくさそうに「暗くなってきたから、気をつけて帰ってネ」と続けました。男性が軽くうなづくと、男の子は自転車で走り去っていきました。

二人が実の祖父・孫の関係なのか、単に知り合いなのかは分かりません。人間関係が希薄になったといわれる昨今、世代を超えてのそんなやさしい光景にふれて、私の心は温まり、ウォーキングの足に一段と弾みがついてきました。(K.T)

■今どきの若者たち、なかなかやるな～

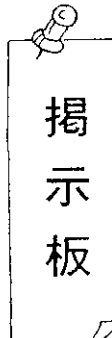
昨晩秋の日曜の午後3時過ぎの頃。後ろから走ってきた自転車が小生の肩口に軽く触れて、なんの会釈もせずそのまま過ぎ去った。ちょっと不快に感じながらその自転車を目で追うと、ふらふらとハンドルをとられて危なっかしい。と、案の定、5～6メートル行った所で横転してしまったのだ。なかなか立ち上がれない。小走りに駆け寄り、「大丈夫ですか」と声をかけながら起こそうとするが、がっしりとした50～60代の男性で、なかなか重い。酒の臭いが立ち込めている。それを咎めるより、まずは、道をふさぐ格好で倒れているのは自動車の通行の妨げになるし、危険だ。道の端まで引き寄せなくては…。

そう思ううちに、人通りの少ない道だったが、通行人が不安気に立ち止まる。倒れた男性を道の端に寄せるのに、手を貸してくれる若者が現れた。彼だけではない。横たわる男性に声をかけながら介抱したり、彼の衣服を取り繕ったり、心配そうに見守っていたり…。若いカップル、乳母車を押している若夫婦、外出用に着飾った若い女性、みんな20～30代の若者ばかりではないか。私は時間でいく避けられない用事があったので、救急車を呼ぶなり、後の処置を彼らに託して立ち去った。

あの様子なら、きっと、上手に立ち回ってくれたに違いない。今どきの若者たち、なかなかやるではないか。(初老の男)

皆さんの周りにも《何気ないけれど、ちょっと、いい話》って、ありませんか。どうぞ、ふるって事務局までお寄せください。

池を巡った「千束のみちしるべ」という一項があります。文章と挿絵でビジュアルに構成された貴重な資料です。



掲示板

◇区長より地域貢献団体に感謝状が贈られる◇

平成22年度地域貢献団体感謝状贈呈式が昨年11月18日(木)、きゅりあんイベントホールで開かれました。

これは、日ごろから地域においてボランティア活動を行なっている団体に対して贈られるもので、品川区長より各貢献団体に感謝状が手渡されました。

- コスモス会：新舞踊を通じた高齢者の交流
- サークルレアヒビ：フラダンスを通じた高齢者の交流
- フラオ・ミノアカ：フラダンスを通じた高齢者の交流

◇統一地方選の日程が決定◇

今年統一地方選挙がある年です。まず、4月10日(日)には東京都知事選挙、同24日(日)には品川区議会議員選挙がそれぞれ執り行われます。

選挙は民主主義の基盤をなすものです。大切な一票を無駄にしないように、投票所へ足を運びましょう。

- クラーク像うぐいす色の雨になる (荏原一丁目 吉田久美子)
- 立春の光の征矢(そや)に射抜かれる (荏原一丁目 吉田 健治)
- 気が付けば老人クラブ仲間入り (小山3丁目 鈴木千金榮)
- 初明かり 溢るるほどの好奇心 (小山3丁目 青山智恵子)
- 春を待つ 花芽か葉芽か期待して (小山3丁目 青山 淑子)
- まるで巨大なイリュージョンのようです (小山台一丁目 昌子)

謙早湾の閉門するを見たとき